

## 1 学習の概要

### キーワード

資料の拡大提示

画面の操作

### IT活用のポイント

最新の資料を提示

児童のノートの拡大提示

### 小単元名

さまざまな自然とくらし

#### 小単元の目標

我が国の国土の特色を理解し、人々の生活や産業、文化との関連をとらえるとともに、国土に対する愛情をもつ。

国内の地形、位置、気候条件の概要を各種資料を効果的に活用して調べる。

#### 本時の学習

各種資料をもとに国土の広がりや気候について調べ、話し合う。

#### 本時の目標

各種資料を活用し、そこから国土の様子を読み取ることができる。

#### 本時の活用コンテンツ

プレゼンスライド（自作）

- ・ OS/WindowsXP
- ・ ソフトウェア/PowerPoint2003 ppt.exe

<http://www.edu-ctr.pref.kanagawa.jp/pptexe/>

#### 補助資料

Yahoo ニュース  
<http://headlines.yahoo.co.jp/hl>

- ・ 違いのはっきりした雨温図を用意し、それをコンピュータの画面上で操作しながら、寒い土地や暖かい土地の気候の特色をつかめるようにする。
- ・ 国土の広がりを実感するためには、各地の写真を見ることが有効である。2月の日本の各地の写真インターネット上から集め、授業の中で提示する。
- ・ 児童のノートを拡大提示し、考えのすばらしいところやおもしろいところを全員で共有する。

### 小単元計画（9時間扱い）

1. わたしたちの国土
2. 冬でもあたたかい石垣島
3. 八重山地方のこれから
4. 沖縄県からアジアが見える
5. 北海道からアジアが見える
6. 寒さのきびしい十勝地方
7. 十勝平野からのおくりもの
8. 国土の広がりや気候の様子（本時）
9. 美しい日本のわたし

### 本時の学習（45分）

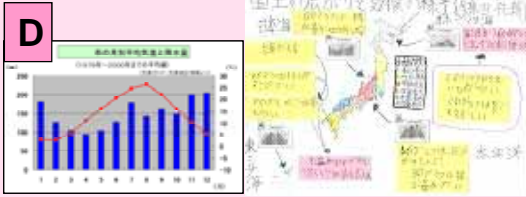
学習活動	指導上の留意点
1. 日本の衛星写真を見て気付いたことを話し合う。	・ 教科書や自作資料を拡大提示する。
2. 4種類のグラフを見て、どこの都市にあてはまるか考える。	・ グラフを地図上で動かせるようにし、児童に操作させながら考えの根拠を発表させる。
3. 日本各地の2月の写真を見て、その違いに気づく。	・ 帯広、浜松、新潟、那覇の写真を見せ、冬でも気候に大きな違いがあることに気づかせる。
4. 日本の気候の特色を模式図にまとめる。	・ 事象同士の関連性が分かるように、模式図を作成する。

## 2 実践のポイント！

### 資料を拡大提示

自作の提示資料だけでなく、教科書の資料からも様々なことが読み取れます。教科書はスキャナで取り込んで拡大提示しました。

また、教科書だけでなく、児童のノートもスキャナで取り込んでおき、次時の初めに全員で見合いながら、目の付け所がよい点や、鋭い見方をしている点などを紹介するようにしました。上手な子のノートのまとめ方を参考にしようになりました。



### 画面を操作しながら

画面のスライドは、雨温図の部分が動かせるようになっています。どの都市の雨温図なのか児童に操作させ、なぜそう考えたか根拠を発表させるようにしました。

「冬寒いから帯広」、「雨が多いのは台風のせいだから那覇」などというように、子どもたちは雨温図と日本地図を自由に組み合わせながら、自分の考えを発表しました。



### 最新の資料の活用

今年の1月、2月は大変積雪が多く、新潟では記録的な豪雪となりました。頭上2m以上積もった積雪の中をバイクで走る郵便配達人の写真には子どもたちから「大変だぁ」という声が上がりました。

インターネット上でニュースのページを開くと、刻々と移り変わる日本各地の現在の姿が様々な写真となって公開されています。授業のねらいに沿った最新の資料を活用することで、児童はより深くねらいにせまることができます。

新潟県津南町では4mを越える積雪

同じ2月の出来事

沖縄県久米島町では楽天イーグルスのキャンプ

## 3 子どもたちは？

### 子どもの姿

ITを活用することによって、子どもたちは、国土の広がりや気候の様子をより身近に感じることができたようです。「昨日自分の家で見たニュース」と学習したことがスムーズに結びついたのではないかと思います。

資料の活用はITだけに頼るのではなく、地図帳でも確認するという作業を取り入れました。そうすることによって、子どもたちの理解はより深まったようです。



### 子どもの声

- ・新潟県にあんなに雪が積もっていることにびっくりした(4メートル!!)。写真で見てよく分かった。
- ・どこの市か予想するのがクイズみたいでおもしろかった。
- ・同じ2月でも、沖縄と新潟では全然気候がちがうのでおどろいた。写真でちがいがよく分かった。
- ・4つのグラフを見て、全部日本なのにずいぶんちがうなあとと思った。特に新潟県は他の県と降水量のグラフの形がちがっていることがわかった。
- ・教科書が大きく見られるのでわかりやすくていい。いつもより説明がよくわかる。